



# 関町小通信

平成28年6月1日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 5月号

## オリンピック・パラリンピック教育って…？

校長 福岡 勤

右の国旗はどこの国のものか、皆さんお分かりになりますでしょうか？

東京都教育委員会は、今年度から、4年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、オリンピック・パラリンピック教育の推進に本格的に取り組み始めました。

この取組とは、子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となるかけがえのないレガシー（大会後も継続・発展していく活動や取組、精神など）を形成するために行う語学教育・国際交流、ボランティア、体力向上の取組です。

具体的には、都内の全公立学校は、開催年を含む5年間で、「4つのテーマ」【オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境】と「4つのアクション」【学ぶ（知る）、観る、する（体験・交流）、支える】を組み合わせた取組を展開



カラーでない上、不鮮明で、分かりづらいと思いますが…。

することになります。また、この取組を通して、重点的に育成すべき資質として、「ボランティアマインド」「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」の5つが示されています。

各学校は、これら5つの資質を伸張させるためのプロジェクトとして社会奉仕の精神を養う「東京ユースボランティア(プロジェクト)」、思いやりの心を育て、相互理解を図る「スマイルプロジェクト」、そして、参加予定の国の中から指定された5カ国について学び、その国の人との交流を図る「世界ともだちプロジェクト」に取り組みます。冒頭の文章は、本校が指定を受けた5カ国の国旗についての問いだったのです。今年度、本校ではこれまでの活動や取組の中から、全ての学年にて上記の取組が無理なく実施できるものを洗い出すとともに、新たな取組を加えた年間指導計画を作成し、来年度からの実践に備えます。

この夏の8/5（金）から8/21（日）までの日程で開催されるリオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会は、2020年を待つことなく、オリンピック・パラリンピック教育が目指す学びを深める絶好の機会となります。夏休みには、日本の代表選手やチームの応援に力が入ることでしょう。そのような中、出場国についてお子さんの興味・関心が高まり自由研究のテーマに選んだ場合は、各国の地理、歴史、文化、特徴などについて主体的な学びができるよう、御支援いただくと幸いです。

最後に、問いの答えを記します。上から順にオーストラリア連邦、ドミニカ国、イスラエル国、イラク共和国、ケニア共和国となります。私には国名や地理上の位置さえも不正確な国がありました。皆さんは、いかがでしたでしょうか？